

子どもワクチン支援にご協力ありがとうございます

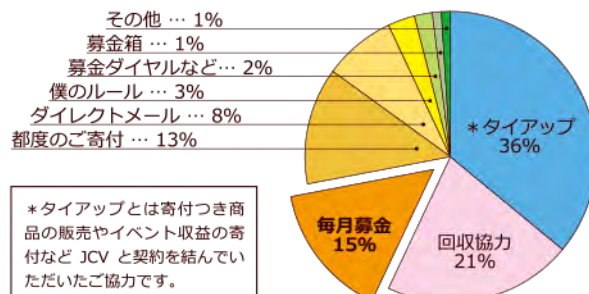
ワールドキッズサポーターのみなさま、子どもワクチン支援活動にお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。2013 年は、紛争が終結したためミャンマーのカイン（カレン）州とヤカイン州にワクチンを届けられるようになったいっぽうで、シリアでは紛争が収まらないために急速支援が必要になるなど、感染症対策をとりまく環境はめまぐるしく変化しています。そして、ポリオの根絶もあと少しのところまでできていますが、いったん発症がなくなったにもかかわらず、また発症する地域があり、油断ができない状況です。みなさまからのご協力で私たちの活動は、確実に効果をあげてはいますが、感染症の脅威にさらされている子どもたちがいるかぎり活動を継続しなくてはなりません。引き続きみなさまのあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。



2014 年 1 月 認定特定非営利活動法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 理事長 細川佳代子

％ ご寄付種類別の割合

毎月募金に参加してくださっているみなさまのご寄付合計額は、JCV への年間ご寄付合計額の 15% にのびります。この割合はここ数年間変わっており、みなさまの継続的なご協力が、ワクチンを子どもたちへ安定的に供与するために非常に重要な位置を占めていることがわかります。今後とも支援先国の子どもたちの命を守るために「ワールドキッズサポーター」として継続的なご協力をお願いいたします。



★ ミャンマー連邦共和国



2013 年で支援開始から 18 年目を迎えたミャンマーは、民主化が進むにつれて、少数民族に関わる地域紛争も収束の方向に進みつつあります。2012 年に紛争が終結したカイン（カレン）州とヤカイン州が新たに EPI（拡大予防接種計画）の対象地域となり、両地域にもワクチン支援を開始しました。これにともない、不足するワクチン接種の専門家の雇用に関わる費用も緊急支援しました。JCV では、おもにカレン族が暮らすカイン（カレン）州をはじめて視察しました。平和回復プログラムと有機的に連携して行われている予防接種活動で、接種率を他の地域レベルまで上げる取り組みを確認しました。

【支援内容（2014 年向け）】 ■ワクチン：BCG 550,000 人分、経口ポリオ 166,667 人分、破傷風 9,750 人分
■コールドチェーン：ウォークイン保冷庫 4 基、ソーラー保冷庫 20 台、アイスライン保冷庫（*1）75 台、冷凍庫 40 台、コールドボックス 110 台、ワクチンキャリアー 300 台、温度監視計 400 個、ワクチン接種実施のためのスペシャリスト雇用 1 名、注射器、セーフティーボックス（*2）ほか

（*1）アイスライン保冷庫：基本的には電気で運転するが、保冷庫内に凍らせたアイスパック（水を入れて凍らせたプラスチック製パック）を挿入することで停電時も一定時間保冷機能が持続 （*2）セーフティーボックス：使用済み注射器回収箱

🇇🇵 ラオス人民民主共和国



近年、中国からの影響で工業も発展しつつあるラオスですが、農村部では、住民がお互いを助け合いながら自給自足の生活を送っています。2013 年の視察では、北部ルアンナムター県を訪れ、県、郡レベルのワクチン接種とワクチン関連施設のモニタリングを行いました。伝統的慣習がワクチン接種を阻害することもあり、ラオスの農村部にあって、アカ族の暮らすブンコック村では、ワクチン接種を受け入れたことにより、子どもたちは感染症の脅威から守られていました。いっぽうで、ワクチン関連施設では、郡レベルになると関連機器の保管施設に問題が見受けられるなど、良好なワクチン接種を維持していくためには、インフラ整備の必要性を痛感しました。協議の結果、ラオスに対しても他の支援先国同様、ワクチンの他にコールドチェーン関連機器の支援も行うことを決定しました。

【支援内容（2014 年向け）】 ■ワクチン：BCG 200,000 人分、MR（麻疹、風疹）50,000 人分、DT（ジフテリア、破傷風）50,000 人分
■コールドチェーン：アイスライン保冷庫 10 台、注射器 335,000 本、セーフティーボックス 3,250 個、運搬用バイク 10 台 ほか

ブータン王国



ヒマラヤ南麓の王国ブータンは、豊かさを「国民総幸福量（GNH）」ではかることで知られ、近年は壮大な自然景観を後ろ盾に観光業も盛んになっていますが、その他の産業としては、水力発電くらいに留まっています。したがって、国民の95%が恩恵を受けているとされている医療サービスは、外国からの支援に頼らざるを得ない状況です。また、人口が分散しているために、効率的にワクチン接種を行うことも困難となり、ワクチンの廃棄率（ワクチンは1バイアルに複数人用が入っているものが多い）を下げることや、2015年をもって、他国の大規模な支援が終了することも大きな課題となっています。2013年で支援開始から5年を経過したのを機に、このような課題を克服するビジョンについて、ブータン保健省、現地 UNICEF、JCV の三者で協議する予定です。

【支援内容（2013年向け）】 ■ワクチン：BCG 180,000人分、経口ポリオ 32,250人分、MR（麻疹、風疹）55,500人分、DT（ジフテリア、破傷風）33,250人分、DPT（ジフテリア、百日咳、破傷風）69,000人分、B型肝炎 52,000人分
■コールドチェーン：アイスライン保冷庫 4台、ワクチンキャリアー 30台、注射器 220,000本

バヌアツ共和国



南太平洋の島嶼国バヌアツは、83の島々からなる地理的要因からワクチンの輸送コストが非常にかさみます。首都ポートビラから各島の保冷庫、そこから各島々までは航空機または船舶でワクチンを輸送しますが、交通機関のスケジュールやその高額な費用から、ワクチンが定期的に運ばれていない事情や保冷庫のメンテナンスを行える技術者の不足も、2013年の視察で把握しました。2014年で当初の5年支援計画は完了しますが、2015年からの新しい支援に向けて、コールドチェーン強化など内容の見直しを UNICEF Pacific と協議していく予定です。いっぽう、2012年3月の視察時にファースト・コンタクトをとった、伝統的生活を営むイアナウラウル村では、ワクチン接種を受け入れ、子どもたちが感染症の脅威から守られるようになった、と村の酋長とお母さんたちから報告を受けました。

【支援内容（2013年および2014年向け）】 ■ワクチン：五価（ジフテリア、百日咳、破傷風、B型肝炎、髄膜炎桿菌b型（Hib）による細菌性髄膜炎）7,186人分
■コールドチェーン：ソーラー保冷庫 10台、注射器 750本、セーフティーボックス 490個

マダガスカル共和国



2012年より支援を開始した、アフリカの南東部インド洋に浮かぶ島国マダガスカル共和国は、5歳未満児の死亡率を減らすのに成功した、アフリカの数少ない国のひとつでした。しかし、2009年の政治危機以降、保健医療に対する資金が慢性的に不足する状態となっています。2013年は、マダガスカル島南西部のアツイモ・アンドレファアーナ地域圏を視察し、コールドチェーンが危機的な状況に陥っていることを確認しました。これをうけて、2012年のワクチン供給を主とする支援に引き続き、コールドチェーン強化に特化した支援を決定しました。電力、燃料ともに乏しい同地域圏の8箇所の保健所に蓄電が必要ない直接運転式ソーラー保冷庫を導入し、1,500人の1歳未満児と1,900人の妊婦（母子ともに守るための破傷風予防）にワクチン接種を行うことを目標にしています。

【支援内容（2014年向け）】 ■コールドチェーン：直接運転式ソーラー保冷庫 8台

シリア・アラブ共和国

※シリア・アラブ共和国の支援は子どもワクチン毎月募金ではなく緊急支援募金から拠出を行いました



©UNICEF/UKLA2013-02380/Sharron Lovell

シリア騒乱が3年目に入った2013年3月、JCVはUNICEFシリアより、2013年度の保健衛生および栄養補給支援プログラムに必要な1,588万米ドルの約1%の支援を求められました。シリアはもともと中東では先進的でワクチン接種率も概ね良好でしたが、騒乱により接種率は下がり、MMR（麻疹、おたふく風邪、風疹）の接種率は39%と周辺国平均の89%を大きく下回っています。そこでJCVでは、不足する150万人分のMMR3種混合ワクチンとコールドチェーンの維持が困難になっているのを補うためにワクチンキャリアー購入のための拠出を行いました。現在、シリアでは1999年以来発症していなかったポリオの発症が確認されており、JCVでは引き続きシリアのワクチン接種状況の把握に努めています。

【支援内容（2014年向け）】 ■ワクチン：MMR（麻疹、おたふく風邪、風疹）1,500,000人分 ■コールドチェーン：ワクチンキャリアー